

クラス：B

グループ：2

選んだケース：ケース1

1. レディネスとニーズ分析

在留資格	技能実習1号（団体監理型）
在留資格移行見通し	技能実習1号 入国後講習（現在）
日本滞在歴	0年
職種	複数職種混合（建設、機械・金属、食品製造関係、農業）
人数	20名
国籍、人数内訳、学歴等	ベトナム（10名） インドネシア（6名） フィリピン（4名）
日本語学習歴	入国前に現地教育機関にて学習（2か月 320時間）
日本語能力等	国で320時間の入国前講習を受講したものの、日本語レベル的には初学者。ひらがなはなんとか読み書きできるが、カタカナは簡単なものであれば読める程度。その他、簡単な挨拶や自己紹介はできるが、それ以外はできない。
就労状況	入国後講習後に実習開始予定
学習期間 学習時間数	1ヶ月160時間の入国後講習のうち、日本語教育は136時間で実施 ※1日8時間まで、週5日まで
ニーズ・所属機関の要望等	技能実習生が技能実習を円滑に行うため、日本の社会・労働環境に適応するための基礎的な日本語能力を習得させたい。
その他	クライアントは監理団体

2. シラバスデザイン

1) 授業時間数	136時間（時間数：1日8時間×17日＝136時間）
2) コースの方針	技能実習生が技能実習を円滑に行うため、日本の社会・労働環境に適応するための基礎的な日本語を習得する。繰り返しの学習を行うことで、確実に習得できるようにする。コミュニケーションストラテジーが身につくようにグループワークやロールプレイなど多様することで、アウトプットを増やす。今後の自律学習につなげるために「つなひろ」を活用する。
3) 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・聞くこと A2.2： ゆっくりと話されれば、日々の業務で行う決まった手続きや手順（日課、ルーティン）の語句や表現を理解することができる。 ・話すこと（やりとり）A2.1： 職場内で、仕事上の簡単な情報交換で済む日常の話題ならば、コミュニケーションをとることができる（非常に短い社交的なやりとりには対応できるが、自分から率先して会話を進められるほどの力はない） ・話すこと（発表・報告） A2.1 職場環境や日課などの日々の身近なことならば、簡単な語句や文を並べて単純な発表・報告をすることができる。 ・読むこと A2.1 日常業務などの活動領域内でよく使われる語句で簡潔に書かれているものであれば、短い説明や掲示（指示、危険警告など）を理解することができる。 ・書くこと A1: 自分の名前や所属などの基本的な事柄や、挨拶などの定型表現ならば、いくつかのカタカナ、漢字を使って書くことができる。

4) 学習内容	(げんばのにほんご)※工場見学(ユニット④)以外必要 ユニット①②③⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (じっせんにほんご)
5) 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・メインテキストは「げんばのにほんご」を使用する ・補助教材(副本)として「じっせんにほんご」を使用する ・スマホアプリ「げんばのにほんご」「つなひろ」を使用する →自律学習を促していく

3. カリキュラムデザイン(学習計画および学習目標)

回	授業の内容	学習目標	教材
1回～5回	オリエンテーション	自己紹介(グループ) 他己紹介で発表 コースの目標を知る。 教材の紹介 自律学習のために「げんばのにほんご」アプリの使い方を知り、ログインする。 レベルチェック(アンケート形式)	つなひろ(便利なフレーズとレベル1から選択して実施) じっせんにほんご(だい1,2か)
	標示の意味を調べる	職場でよく目にする標示の意味や漢字の読み方を様々な手段で調べ、理解することができる	ゲンバの日本語(ユニット1) じっせんにほんご(だい3,4か・ごいひょう P.184-191)
	ルールやマナーの説明を聞く	注意事項やルールの説明を聞いて、理解することができる	ゲンバの日本語(ユニット2) じっせんにほんご(だい5,6か)、つなひろ
	災害時のアナウンスを聞く	災害発生を知らせるアナウンスから必要な情報を聞きとることができる	ゲンバの日本語(ユニット3) じっせんにほんご(だい7,8か)、つなひろ
	ユニット1～3までの復習及び小テスト		
6回～10回	予定や指示を聞く	同じ部署の人の予定や指導員・上司の指示を聞いて理解できる	ゲンバの日本語(ユニット5) じっせんにほんご(だい9,10か)、つなひろ
	予定を共有する	朝礼で自分の行動予定をチームのメンバー(同僚)と共有することができる	ゲンバの日本語(ユニット6) じっせんにほんご(だい11,12か)、つなひろ
	予定を確認する	わからないことを質問したり、聞いた内容を確認したりすることができる	ゲンバの日本語(ユニット7) じっせんにほんご(だい13,14か)、つなひろ
	ユニット5～7までの復習及び小テスト		

	スト		
11回～16回	使い方について質問する	自分の質問の意図を明確に伝えたり、わからないことをもう一度質問したりすることができる	ゲンバの日本語(ユニット8)じっせんにほんご(だい15,16か)、つなひろ
	体調不良を伝える	体調不良やけがの様子を伝えることができる	ゲンバの日本語(ユニット9)じっせんにほんご(だい17,18か)、つなひろ
	遅刻の連絡をする	指導員や上司に遅刻の連絡をすることができる	ゲンバの日本語(ユニット10)じっせんにほんご(だい19,20か)、つなひろ
	ユニット8～10までの復習及び小テスト		
17回	総まとめ・テスト補講		
	総まとめ2・テストのFB 補講		

4. 評価

1) 評価項目

- ・ Can-do 「読む-A2.1」「聞く-A2.2」「話す-やりとり A2.1/発表・報告 A2.1」「書く-A1」
- ・ ロールプレイの評価
 - 伝えたい内容を正しく伝えることができる
 - 会話の流れを自分で作ることができる
 - コミュニケーションが上手くできなかったときの対応
 - 表情や体の動きなどの非言語行動、相手や状況に合わせた話し方ができる
(教師評価、自己評価、他己評価による)

2) 評価方法

- ・ 小テスト
- ・ 総テスト
- ・ ロールプレイ(学習者同士のやり取り)

以上